

普及活動情勢報告（令和2年1月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

ポンカンの出荷始まる!! ～JA高知県安芸地区果樹部～



ポンカン目慣らしの様子

12月26日、ポンカン選果場で目慣らし会を開催し、各生産者はポンカンを持ち込み、どの程度の外観や大きさであれば糖酸度光センサーを通過するかを確認し、熱心に質問していました。なお、12月30日にその結果を各支部の目慣らし会で周知しました。

1月6日、農業改良普及課室戸支所とJA営農指導員で果実分析した結果、糖度は1.3上昇し、酸度は0.15減り、食味バランスのよい品質に仕上がっていました。JA高知県安芸地区管内で生産されたポンカンは、1月10日から約2か月間「土佐よさこいポンカン」というネーミングで市場に出回ります。

農業改良普及課室戸支所は、引き続き、ポンカンの生産振興を図ります。

経営・カイゼンの取り組みについて学ぼう! ～第7回農業基礎研修講座～



「どんぶり勘定では
ダメですよ!!」

農業改良普及課では就農5年目までの新規就農者等を対象に、農業の基礎的な栽培管理等についての講座を開催しています。

1月16日、安芸総合庁舎で第7回農業基礎研修講座を開催し、新規就農者等13人が参加しました。今回は農業経営とカイゼン（生産現場の作業効率や安全性の確保を見直す取り組み）についての講座を行いました。

参加者からは「演習を通して簿記について理解を深めることができた」などの意見が聞かれ、経営の知識の重要性を知ってもらえたことができました。昨年7月から毎月基礎講座を開催してきましたが、次回はよいよ令和元年度最後の講座になります。

農業改良普及課は、今後も新規就農者のよりよい営農ができるように支援します。

日南(ひなた)地区に来てみいやああ!! ～室戸市日南地区の取組～

第7回 むらとのお山の収穫祭
日南はっけん展
2020年1月19日(日)
11:00-16:00 旧日南小学校
入場無料

販売
日南産物やひなた、
安芸や日南などの特
産品、五穀磨りなどを
販売します!

お楽しみ企画
搾汁のふるまい
田芋の試食
カフェコーナー

アクセス
室戸市吉良川町1112
旧日南小学校
新築3年より高層階の
建て替え工事中のため
閉鎖中(駐車場あり)

主催: 集落活動センターひなたぼっこ
問合せ: 室戸市産業振興課 TEL.0887-22-5117

ひなた盛り上がり～

1月19日、室戸市吉良川町日南地区で「日南はっけん展」が開催されました。

「日南はっけん展」では、日南地区で収穫されたお米や野菜の販売の他、猪汁がふるまわれ、特に「ひなたの田芋」は室戸市の直販所でも評判で、今回も大変好評でした。

農業改良普及課室戸支所は、田芋の増産に向けて、日南地区に7種類ある品種を分類・整理する取組を行ってきました。

農業改良普及課室戸支所は、引き続き農業を通じて日南地区の活性化を推進します。

『なはりの郷』のイチジク順調です ～奈半利町の農業振興～



「樹形のイメージは
わかりましたか？」

1月21日、農業改良普及課は奈半利町の一般社団法人「なはりの郷」を対象にイチジクのせん定講習を行いました。本格的なせん定は今年が初めてのため、切り口からどのように芽がでてくるのかなど、基礎から丁寧に指導しました。

生産者は、早く切りたくてウズウズしており、「ちょっと待って、まずは全体を理解してからにしよう」等のやりとりが何度か行われました。講習後、本格的にせん定を始めましたが、慣れてくると徐々にペースも上がり、納得のいく樹形が完成していきました。

農業改良普及課は、今後も奈半利町内の農業を支え農業で稼ぐ仕組みづくりに向けて、なはりの郷の農業部門の活動を支援します。

農作業の細分化で理解度をアップ!! ～安芸市農福連携研修会～



農作業の細分化の説明をする
普及指導員

1月21日、安芸市農福連携研究会（福祉＋農業関係機関で構成）は、農業生産者に農業と福祉の連携に理解を深めてもらうことを目的に、JA高知県安芸地区本部3階会議室で、「農福連携研修会」を開催し、約30人が参加しました。

農業改良普及課は、福祉関係者や障がい者等に理解されやすいように、ナスの農作業を細分化して各農作業の動画をQRコードでリンクした資料を作成して説明しました。

参加者から「この作業はもっと簡単にできる」、「現場で活用してみたい」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も福祉分野と農業分野の相互理解のための支援します。

ユリも環境を最適化して切り花品質アップ!! ～JA高知県安芸地区花卉部球根部会現地検討会～



「ユリにもCO2で
ワンチャンありますよ!!」

1月23日、JA高知県安芸地区花卉部球根部会がユリの現地検討会を開催し、生産者6人が参加して、全戸巡回しました。

農業改良普及課は、ユリの生育ステージごとの温度管理と温度センサー設置位置の注意点、ユリのCO2施用実証試験の結果について説明しました。

生産者からは「昼間の温度管理をちょっと変えてみよう」、「CO2で茎が固くなるんやったら、やってもえいかもしれん」といった意見が聞かれ、ハウス内の環境コントロールの重要性について理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も環境制御技術を指導して切り花品質の向上を図り、ユリの産地振興を推進します。